

令和6年度三田市高校生議会 質 問 書

【質 問 者】 4番 兵庫県立西陵高等学校 2年 山本 琉惺（やまもと りゅうせい）

【担 当 課】 学校教育部 学校給食課

【答弁予定者】 教育長

【質 問 事 項】 給食の力で人口を増やそう

【質 問 内 容】

4番 高校生議員 兵庫県立西陵高等学校 2年の山本 琉惺です。

三田市では、人口減少が問題となっておりこれをどうにかして食い止めることはできないかと思いました。そのため、給食の充実とその魅力をアピールできないかと考えました。

それについて今三田市に足りないものは、三田の美味しい給食の魅力を広く伝えられていないことです。高校生議会のワークショップで他の高校生と意見交換をした際にも給食が美味しかったと感じる人は多かったのです。

三田市に給食の良さをアピールする方策が必要である一方で、魅力向上のためには質や量を低下させることなく世帯の給食にかかる負担削減を図る必要があります。そこで私が考えたのは三田市ゆかりの食材を使用することで三田の給食をアピールします。そのための方策としてイベントの一部などで給食を実際に食べられる機会を作り、市内外の人に美味しさを知ってもらうことを提案します。そうすることで、子育て世代の大人たちにも三田産の食材

を使った給食の良さを知ってもらうことができます。そうすることで市内だけでなく市外の人にも三田の良さをアピールでき、三田に住んでいて子育てすることのメリットが感じられます。また、給食の良さが広まれば「給食レストラン」などの事業に発展できる可能性もあり、さらなる魅力のアピールとともに収益化できるかの可能性も広がり自分も食べに行くことで貢献できると思います。

三田市の学校給食の良さを知ってもらうことで、定住者の増加を目指すことについて、市の意見を聞きたいです。

【答 弁 内 容】

山本（やまもと）議員のご質問の「給食の力で人口を増やそう」についてお答えいたします。

議員ご指摘のとおり、人口減少への対策は現在の三田市の大きな課題であり、その解決策の一つとして三田の良さを知っていただき定住者を増やすご提案で、その三田の魅力のひとつとして、三田の美味しい学校給食に着目していただいたことに感謝いたします。

私たちは日々、子どもたちの心身の健全な発達に資する安心・安全でおいしい学校給食の提供に努めております。少し前になりますが、令和4年、議員が中学3年生の時に行った保護者へのアンケートにおいても約6割の皆さんが給食の献立に「満足」され、味も「美味しい」と答えていただいております。また本日、学校給食を食べた卒業生のみなさんにとっても良い思い出として残っ

ているとお聞かせいただき、本当にうれしく思います。

その様な中で、議員のご提案についてであります。まず、三田ゆかりの食材の使用については、市内産の野菜を使って地産地消を推進するとともに、特産の「三田うど」も毎年提供しています。また、今年度開発した三田産の黒豆を使った「黒大豆枝豆コロッケ」を今月提供しました。そして、来年度には人気献立である「揚げパン」の提供回数を増やしたり、三田牛を使った献立の復活も検討しているところであり、三田の食材を使った給食が児童生徒の皆さんの思い出として、次世代にも引き継がれることを願っています。

次に、イベント等でのアピールですが、食育事業である「食べチャオさんだ」を通じて、児童が献立を開発する「ご当地給食こども開発会議」の開催や「給食絵手紙コンクール」の実施、また、市ホームページでの「おすすめ！三田の学校給食レシピ」の公開や保護者等の学校園での給食試食の機会を拡充するなど、様々な機会を通じて三田の学校給食の魅力を市内外の皆さんに伝えてまいります。

なお、市として展開する「給食レストラン」の実施については検討すべき課題が大きいと考えております。

人が生きていく上で必要な「食」を通して、学校給食を本市の魅力としてアピールするという視点は、「子どもを核とした本市のまちづくり」において改めて重要であると認識したものであり、今後も関係機関と連携しながら取り組んでまいりますので、議員のご理解を賜りますようお願い申し上げます。